

9-5			
主題	利用者が希望し主体的に行う活動による デイサービスを利用する意欲の向上と利用率に関する研究		
法人名・事業所名	社福)一誠会 デイサービスセンター初音の杜		
発表者(職種)	山田喜光(生活相談員)		
共同研究(実践)者	なし		
電話	042-691-8289	FAX	042-692-1772
事業所紹介	社会福祉法人一誠会は特別養護老人ホーム偕楽園、デイサービス初音の杜・グループホーム初音の杜を併設。平成 26 年 11 月 ISO9001 認証取得。デイサービスは 18 名定員の地域密着型通所介護事業所となっている。		
<p>《1. 研究(実践)前の状況と課題》</p> <p>当センターの利用率(利用数/定員)は H26 年以降 80%前半で横ばい、収入も H27 から 28 年度 5 千万円前後で同様。早期利用停止や欠席傾向のケースがあり、センター利用の意欲向上を図る必要があった。</p> <p>《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的: 利用者の希望を取り入れた活動により出席率(利用数/予定数)の改善や長期的な利用に繋げ、利用率を向上させる。 ・仮説: 高齢世代では、生活を充実させ楽しみたい人の割合が 8 割以上とされており、利用者が自ら希望し取り組む活動により、センターの出席率や利用期間を伸ばすことが出来ると考えた。 <p>《3. 具体的な取り組みの内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の活動に加え、利用者が希望する活動を調査したうえで開始し、活動に所属・未所属の利用者の間で、センターの出席率と利用期間にどれだけの差があるか調査し、活動が利用率に与える効果を測る。 <p>《4. 取り組みの結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率は所属が 97.3%であるのに対し、未所属は 96.6%であった。利用期間は未所属が平均 13.6 カ月であるのに対し、所属は 27.3 カ月で、囲碁・ちぎり絵クラブの所属は開始以降、今もなお利用を継続。また、利用率は 29 年 4 月から 6 月で 90.6%と上昇し、年度収入は 6,074 万円と増収の見込みとなった。 <p>《5. 考察、まとめ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率は、大差はないものの向上あり。平均利用期間は、所属が未所属を大きく上回った。活動を目的として利用が続き、心身の維持・在宅生活の継続により影響があったと考えられる。利用期間が長くなる＝利用数が増える事であり、利用者が希望し主体的に取り組む活動は、利用率向上に効果があると考えられる。(他の効果として、囲碁では参加を目的とした新規利用や、精神面・MMSE 改善のケースあり) <p>《6. 倫理的配慮に関する事項》</p> <p>なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、本人(家族)に口頭で確認し、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。</p> <p>《7. 参考文献》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府「国民生活に関する世論調査」(H24 年) ・八王子市平成 22・23 年度研究テーマ「豊かな高齢社会を目指して」最終報告書 <p>《8. 提案と発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が希望し自発的に取り組む活動は、地域包括ケアシステムの柱である、日常生活支援総合事業の推進にもつながり、充実した在宅生活の継続に寄与するものと考えられる。 			